

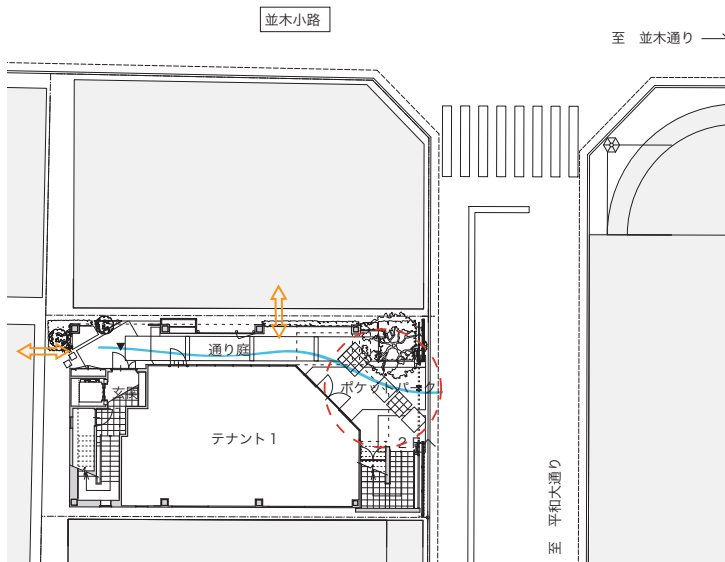
【「通り庭」のあるビル】

「明るい日差しと通風が得られるたことが何よりの喜びです。」ビルの谷間からやっと開放できた施主の感想だ。先代から受け継いだ土地に住みつづけたという強い意思によりこのビルは完成し、次の世代へと渡せることの喜びが語られた。本通りから一筋入った袋町エリアは、地域の人々の手で「うらぶくる」という街づくりビジョンが描かれている。これからの少子高齢化時代に向き合った新しい街との暮らし方=コンパクトシティを指している。

広島市中心部の商業エリアなのに「敷地いっぱいには建てないのは何故?」とよく質問される。「うらぶくる」のコンセプトは「居心地の良い散策型の裏街をつくること」ここではオープンスペースにそれを委ね、街づくりに対しては「通り庭」を提案している。建物の前面に設けられたポケットパークには樹木が植えられ、2階のオープンテラスへ、空へと空間が広がる。人々は自然に足を止め引き込まれ、自転車やベビーカーも道に溢れない人に優しい街を感じる。これらのオープンスペースは奥の「通り庭」へと続き、将来隣へ、また隣へと「裏通り」が繋がることを願っている。



東側外観



所在地	広島市中区袋町
主要用途	店舗併用住宅 (1・2階:テナント3・4階:二世帯住宅)
構造	鉄骨造
階数	4階建
面積	敷地面積 190.61㎡ 建築面積 138.31㎡ 延床面積 400.37㎡



3階 親世帯 ダイニングから和室、主寝室を見る



4階 子世帯 リビングから書斎、主寝室を見る



ポケットパークから通り庭を見る